

漁海況月報

平成 15 年 9 月 1 日

No. 9

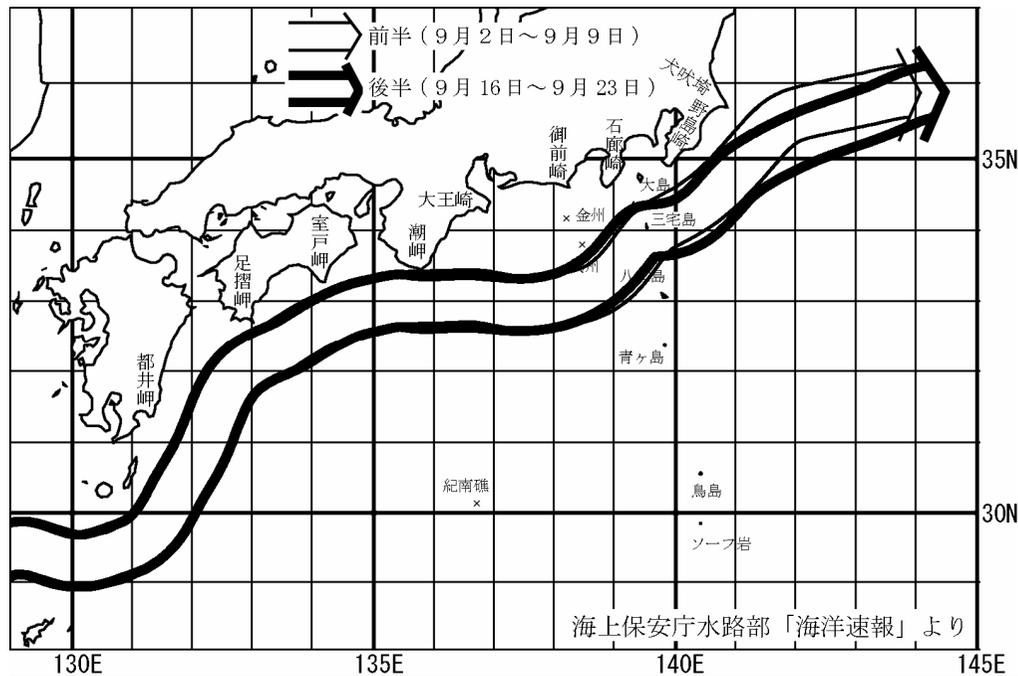
～9月30日

静岡県水産試験場

(電話 054 627 4815)

静岡県水産試験場伊豆分場

(電話 0558 22 0835)



【黒潮流路】

黒潮は、8月に引き続きN型基調で推移し、遠州灘沖33°～33°30'N付近を東進、御蔵島から三宅島付近を通過したのち北東に流去した。この間、黒潮流軸の変動に伴い、相模湾内には暖水が波及した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾側では22～25℃、駿河湾東部では22～26℃、駿河湾西部では21～25℃で経過した。相模湾側では、黒潮系暖水の波及により平年よりも0.0～0.9℃程度高めとなったが、駿河湾側では、先月に引き続き平年よりも低め基調であった。

【竿釣近海カツオ】

県内主要5港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオの水揚量は43トンで前年同期の86%であった。魚価は290円/kgで、前年同期を少し下回った。

静岡県中型竿釣船の記録（QRY）によれば、9月の漁況はおおむね以下のとおり推移した。

上旬：37°～40°N、142°～151°E（表面水温20～24℃）の広範囲に漁場が形成され、小、中、極小、大カツオを漁獲した。

中旬：37°～40°N、143°～150°E（表面水温20～24℃）の広範囲に漁場が形成され、小、中、極小、大カツオを漁獲した。

下旬：39°～40°N、146°～148°E（表面水温18～20℃）と40°～42°N、151°～155°E（表面水温17～20℃）に漁場が形成され、小、中、大カツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量（県内主要5港）

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚量 / 隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
15年9月上旬	6	3	2.0	369
中 旬	21	5	4.2	197
下 旬	16	6	2.7	383
15年 9月計	43	14	3.1	290
14年 9月計	50	15	3.3	305
13年 9月計	27	10	2.7	313

【定置網】

平成15年9月、伊豆半島東岸大型定置網8か統（伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）における水揚量は265トンであった。1漁場当たり水揚量33.1トンは、前年38.3トンの86%、平年値（昭和57～平成14年平均値）50.5トンの66%であった。

魚種別にみると、マルソウダ98.0トン（前年の77%、平年の1.7倍） サバ類70.5トン（前年の3.8倍、平年の48%） マアジ29.6トン（前年の1.7倍、平年の103%） オアカムロ12.0トン（前年の4.0倍、平年の1.3倍） ヤマトカマス11.3トン（前年の38%、平年の45%）の順に多かった。

マルソウダは古網及び赤石を中心に当歳魚主体で入網し、両漁場を合わせるとマルソウダ全漁獲量の8割を占め、尾叉長のモードは20cmであった。サバ類は伊豆山、川奈及び赤石を中心に入網し、尾

2003年9月

定地水温の旬平均値（℃）

（下段は偏差）

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上 旬	24.9	24.5	24.4	25.6	25.6	25.6	24.9
	0.1	0.0	-0.2	-0.3	-0.1	0.2	-0.5
中 旬	24.8	24.6	24.8	24.8	24.6	25.1	24.4
	0.6	0.6	0.7	-0.3	-0.3	0.7	-0.3
下 旬	24.0	23.2	23.8	24.7	23.5	23.4	21.3
	0.9	-0.3	0.4	0.4	-0.1	-0.0	-2.3
月平均	24.5	24.1	24.3	25.0	24.6	24.8	23.5
	0.5	0.1	0.3	-0.1	-0.1	0.3	-1.1

叉長の中心は 28cm～31cm であった。マアジは赤石及び北川を中心に当歳魚主体で入網し、モードは 15～16cm であった。オアカム口は川奈で特異的に入網し、オアカム口全漁獲量の 98% を占めた。ヤマトカマスは北川を中心に入網し、尾叉長の範囲は 15～25cm であった。

漁場別水揚量は、マルソウダ及びサバ類の漁獲が多かった赤石(58.5 トン)、古網(56.2 トン)、オアカム口及びサバ類の漁獲が多かった川奈(35.8 トン)の順となり、北部の漁場で水揚が多かった。

[サバたもすくい棒受網]

9月に小川港に水揚げされたサバ類は792 トンで、すべてがゴマサバであった。水揚げされたゴマサバは尾叉長 30cm 以下の 2002 年級群が主体で、1 隻当りの漁獲量も 22 トンと昨年同期と比べ約 3 倍となり、好漁が継続した。1 kg 当たりの平均単価は魚体が小さいことと、漁獲量が多いことから 40 円と昨年同期の約半値となった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1 隻当り (トン)	漁 場
平成15年 上旬	370	3	16	23.1	銭洲
9月 中旬	423	4	20	21.1	銭洲
下旬	0	0	0	-	-
計	792	7	36	22.0	- - - - -
平成 14 年 9 月	172	8	26	6.6	三宅、新島、高瀬
平成 13 年 9 月	123	2	10	12.3	三宅、御蔵、新島、高瀬

[シラス船曳網]

1日1カ統当り水揚量は、駿河湾で 311kg、遠州灘で 292kg だった。主要 6 港平均では 298kg と前年同期(271kg)の 110%、平年同期(過去 5 年平均: 461kg)の 65% であった。8 月の総水揚量は 868 トンと、前年同期(674 トン)の 129%、平年(1,072 トン)の 81% にあたり、不漁だった前年を上回ったものの、平年を下回った。平均単価は 738 円/kg と平年同期(513 円/kg)を上回った。

シラス水揚量(主要 6 港)

漁 港	水揚量 (トン)	日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統/日)	平均単価 (円/kg)
新 居	50.7	19	283	179	770
舞 阪	259.7	18	839	309	625
福 田	178.3	21	562	317	718
御前崎	69.5	19	228	305	629
吉 田	173.1	21	545	318	643
静 岡	136.2	18	450	303	1,144
平成 15 年 9 月計	867.5	-	2,907	(平均) 298	(平均) 738
平成 14 年 9 月計	674.4	-	2,491	271	1,048
平成 13 年 9 月計	575.0	-	2,325	247	704

[まき網]

小川港では、マイワシは 17.2 トン水揚され、平年同期(過去 5 年平均: 99.6 トン)の 17% と不調であった。カタクチイワシは 0.2 トン水揚され、平年同期(0.3 トン)の 51% と不調であった。

沼津港では、マイワシは 52.6 トン水揚され、平年同期(56.8 トン)の 93% とやや不調であった。カタクチイワシは水揚されなかった。

静浦港では、マイワシは 0.4 トン水揚され、平年同期(1.9 トン)の 19% と不調であった。カタクチイワシは 51.7 トン水揚され、平年同期(57.6 トン)の 90% とやや不調であった。

伊東港では、マイワシは 180.8 トン水揚され、カタクチイワシは水揚されなかった。

[調査船の動向]

富 士 丸

～9月17日 東沖カツオ・ピンナガ調査(17日間)

9月26日 ベンドック修繕工事のため、安良里の藤高造船に回航(1日間)

駿 河 丸

9月1～3日 地先定点観測(駿河湾・遠州灘・伊豆)(3日間)

9月4～5日 駿河湾内にてトラフグ調査(2日間)

9月8～10日 遠州灘にてトラフグ調査(3日間)

9月11～12日 駿河湾内にてサクラエビ IKMT 調査(2日間)

9月16～17日 三宅島沖にてサバ漁場環境調査(2日間)

9月18～19日 駿河湾内にてサクラエビ産卵調査(2日間)

9月25日 ベンドック修繕工事のため、焼津ドックに回航(1日間)